

有識者意見の概要及び意見に対する見解

1. 調査研究課題名 スポンジ化した都市空間における低未利用ストックの利活用促進に向けた地域マネジメント手法に関する調査研究	
2. 有識者意見の概要及び見解 ※有識者意見交換会 有識者：饗庭 伸氏 (東京都立大学 都市環境学部 教授) 大友康博氏 (認定NPO法人 大阪NPOセンター 事務局長) 坂倉杏介氏 (東京都市大学 都市生活学部 准教授) 真野洋介氏 (東京工業大学 環境・社会理工学院 准教授)	
意見の概要	意見に対する見解
<ul style="list-style-type: none"> ・ ケーススタディでは、比較対象エリアの規模感（人口・世帯数）を合わせておく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世帯数が減少している 500m メッシュをもとにエリアを抽出しているため、街なかや郊外と住宅地では規模感をそろえることは難しかったが、各エリアの人口 1000 人以上は確保した。
<ul style="list-style-type: none"> ・ それぞれの事例について、地域がどのような地域なのか整理しておく必要がある。また、取り組んだことによる成果、まちの価値がどう上がったのかという部分を整理する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事例には年齢三区分別人口・世帯数、周辺図を設けた。また、「成果と課題」の項目では、統計数字など客観的な評価が得られたものについては整理した。
<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークショップのまとめは、結局できそうだという話とここはやはり弱点ですという話をしっかりまとめた方が良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ プロセス別の役割と課題の整理の中で、強みと弱みとしてそれぞれ記載した。
<ul style="list-style-type: none"> ・ エリマネ的な視点でスポンジを豊かに埋めることを考えるのは誰で、どう考えれば良いか、示すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事例調査を踏まえ、マネジメントの主体は地域住民や地縁組織であり、地域の各主体との関係性と連携して課題解決に取り組む基盤としてプラットフォームについて言及した。